

警 察 署 協 議 会 会 議 録

早良警察署協議会

開催年月日時	令和元年9月26日 午後2時30分 から 令和元年9月26日 午後4時10分 まで	
開催場所	早良警察署4階武道場	
出席者	警察署協議会	会長以下9名
	警察署	署長、副署長、会計管理官、生活安全管理官、 地域管理官、刑事管理官、交通管理官、 警備課長、総務第一課長、総務第二課長、 被害者支援係長
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶（要旨）】</p> <p>警察署協議会委員の役割は、早良区・城南区民の代表として意見を取りまとめ、警察署協議会で意見として提出したものを、警察行政に反映させることである。本協議会が、有効かつ有意義なものであるために、皆様の御意見・御要望をいただき、県民の安全安心が確保できるよりよい地域社会をつくっていききたい。</p> <p>【署長挨拶（要旨）】</p> <p>署員に対し指示していることの一つに、「県民目線で仕事をしよう」ということを常日頃から言っている。我々、警察職員の仕事が県民のためになっているか、県民の感覚に沿っているか、常に、職員一人ひとりが意識して、仕事をしようとして指示している。</p> <p>本協議会は、県民の代表である委員皆様方から直接意見をお伺いし、これを警察行政に運営し反映させていく貴重な場である。皆様方からの忌憚<small>きたん</small>のない意見を、真摯に警察業務に反映させていくためにも一緒に考えていきたい。</p> <p><管内治安情勢について></p> <p>1 刑法犯の発生・検挙状況について</p> <p>本年8月末で、1,400件の発生があり、前年同期比420件減少している。</p>		

議 事 概 要

特徴として、凶悪犯のみ増加しているが、本年8月末で、

15件発生～11件検挙

している。殺人事件は、

- ・6月に発生した長女による両親の刺殺
- ・8月に発生した中国人留学生による中国人の刺殺

の2件が発生しているが、いずれも被疑者を検挙し起訴されている。

2 交通事故の発生状況

本年8月末現在で、815件の発生があり、前年同期比136件減少しており、負傷者もかなり減少している。

死亡事故は、

- ・3月、飲酒した男性が、普通乗用車を運転中、信号中に衝突し死亡
- ・6月4日、早良口交差点において、複数の車両・歩行者を巻き込んだ多重事故で、車両運転の高齢男性、同乗の妻が死亡

の2件が発生している

9月21日から30日まで、「秋の交通安全県民運動」を実施中で、当署管内飲酒運転ゼロ、交通死亡事故ゼロを目指し、これに加え、高齢者や子供が交通事故に遭わないように取組を強化している。

3 ニセ電話詐欺について

本年8月末の発生件数は9件、前年同期比で15件減少しているが、被害総額は、県下一多く、約7,100万円、前年同期比で約5,000万円増加している。

特に、当署管内で「職権盗」が多発している。「職権盗」とは、警察官などを装い、被害者宅を訪問し被害者にキャッシュカードを確認すると言って持って来させて、被疑者が準備していたポイントカードとすり替えて盗むという手口である。被害者が、騙されたと気付くまでに、預貯金を全て引き出すというもので、県下において多発している。

高齢者宅の訪問、公民館への呼びかけ、安全安心メールの発信等で、幅広く事件の発生を広報するとともに、アポ電があるときに、被疑者が近くにいる可能性があり、警察官を現場に派遣し検挙に当たる活動をしている。

住民の方々が不安を感じる犯罪には、署員一同心を開いて、一致協力しながら、現場に多くの人員を早めに投入し検挙に当たり、皆様方の安全安心の醸成に努めていきたい。

議 事 概 要

【報告事項】

- 巡回連絡について（地域管理官）
巡回連絡の活動内容説明

【巡回連絡競技会】

- ※ 地域第一課・第二課・第三課員の計3名による競技会を実施。それぞれ住民役は委員から選出し、競技者以外の委員・出席署員による審査を実施。
最高得点の競技警察官に対し、本協議会会長から表彰状を授与。

【報告事項】

- 1 登下校時の子供の安全対策について（生活安全管理官）
 - (1) 登下校防犯プランの策定
 - (2) 必要性
 - (3) 登下校防犯プランの概要
 - (4) 川崎市の小学生無差別殺傷事件の発生
 - (5) 当署における登下校時の子供の安全対策

【質疑応答・御意見御要望等】

- 委員から、「自治校区で一斉メールを作っているので、事件等の情報が入れば、自治校区内に発信できる。」旨の要望があり、署長から、「ニセ電話詐欺等のアポ電は、一定地域に集中することがあり、そういった広報網があれば是非活用したい。」旨の回答があった。（生活安全管理官が、後に打ち合わせ済み。）
- 委員から、「（子供の登下校時の安全対策について、）防犯カメラの設置の把握は、公的なものか、企業等が設置しているものか。」旨の質疑があり、生活安全管理官から、「公的な街頭防犯カメラや個人・一般家庭・法人の営業所・大規模病院・学校等の施設内外や公共の道路まで写しているものを把握して、全てに関して協力していただけるように働きかけをしている。」旨の回答があった。
- 委員から、「防犯カメラを設置した場合、その連絡を受け付ける部署はあるか。」旨の質疑があり、生活安全管理官から「代表電話でも結構ですし、直接私にお願いします。」旨の回答があった。
- 委員から、「防犯カメラを自分の家に設置する際、公衆も含めて、他人の行動を撮っている気がするが、方向とか内容について、考慮することがあるか。」旨

議 事 概 要

の質疑があり、生活安全管理官から、「規制はないが、近隣とのプライバシーに配慮をお願いする。県が示した「防犯カメラガイドライン」を参照していただくか、当署に相談してもらえれば、助言やアドバイスができると思う。防犯カメラの設置には、設置費用のほか維持費用がかかるので負担が大きく難しいが、事件の証拠的な取扱いだけでなく、犯罪抑止効果があるので、設置をお願いする。」旨の回答があった。

- 委員から、「友人が車両を運転しているとき、中国人留学生が逮捕された日の午後6時ころ、別府駅から六本松方向に向けて信号停車中、パトカーが大通りに出てきて、そのパトカーを見た車両が急停車して、後続の車両が追突した交通事故を目撃したと聞いた。パトカーの交差点への入り方とか、何か注意されていることはあるのか。」旨の質疑があり、地域管理官から、「警ら用のパトカーの関連交通事故としては把握していないが、通常、道路交通法で規定されている場所での一時停止は、緊急走行時でも、きちんと停車して注意しながら走行することを指導している。」旨の回答があった。
- 委員から、「国道202号線上の原北中学校入口交差点で、交通死亡事故が発生した。過去、5年くらいで、3～4件の死亡事故が発生している。亡くなられた方は、青信号を渡っていて事故に遭っており、どのような改善点があるのか。」旨の質疑があり、交通管理官から、「本年9月13日に、同所において、交通死亡事故が発生している。統計上の死亡事故ではないが、紛れもなく交通事故で亡くなっている。これを完全に防止するのは本当に難しい。一番の理想は、歩車分離であるが、渋滞をある程度覚悟した上での導入となる。これを、国道202号線の路上で歩車分離するのが本当に正解なのか、今後、検討しなくてはいけない。現在、道路管理者と検討していることは、歩行者が安全に歩行できるように、交差点内のカラー化、（車両が）早回りできないようにポストコーンの設置などの物理的対策を進めることに加え、取締り強化をやっていきたいと考えている。警察だけでできることは限られているので、道路管理者等とよく意見を出し合いながらやっていきたい。」旨の回答があった。
- 委員から、「その交通事故は飲酒運転だったのか。」旨の質疑があり、交通管理官から、「（飲酒運転ではなく）普通の状態だった。どこかよそ見をして、接触する直前に（歩行者に）気付き、ブレーキをかけたが間に合わなかった。被疑者をかばうわけではないが、通常どおり右折するくらいのスピードで、歩行者は青信号に従い、深めの帽子を被り、前しか見ていない状態で車両に気付かず、車両にぶつけられて、倒れ込み頭をぶつけた結果、お亡くなりになられた大変痛ましい事故である。」旨の回答があった。
- 委員から、「その事故に関連して、信号の右折矢印の秒数は決まっているのか。」旨の質疑があり、交通管理官から、「交通量に応じて、場所によって調整してい

議 事 概 要

- る。」旨の回答があった。
- 委員から、「今、事故が発生している信号は、（青信号が）短すぎるので、赤信号になっても、（車両が）入ってくると言われている。歩行者は青信号になったから出てくる、（車両は青信号が短いので、）赤になっても突っ込んでくる、それで、もう少し何とかしてほしい。やっぱり、あそこは事故が多すぎる。」旨の要望があり、交通管理官から、「同所は、重大事故が多発している交差点になるので、そういった意見をいただきながら、再発防止に努めていきたい。」旨の回答があった。
 - 委員から、「交通のハザードマップみたいなものはないのか。」旨の質疑があり、交通管理官から、「地図に落とした形では、ホームページに載せてはいない。交通事故は交差点で起こったりするが、年間で数えたら、大きな交差点でも4～5件しかない。（交通事故は）いろんなところで起こっているもので、そこだけを気を付けておけばいいというものではないことをご理解いただき、予算を追加するなどして検討していきたい。」旨の回答があった。
 - 委員から、「バス停との関係で、交通に危険な状況が生じている。早良区荒江の福岡銀行前にバス停がある。バスと他の車両の通行状況や横断歩道がないことから、何人もの歩行者が危険を感じた経験がある。そのような危険箇所はたくさんあるので何とかならないか。」旨の質疑があり、交通管理官から、「今、全国ニュースでも、全国でバス停留所が近くにある危険な交差点があり、国から調査依頼があっている。当署でも、把握した上で必要な措置を講じるが、停留所を動かすのはかなり難しいことのようなのである。」旨の回答があった。
 - 委員から、「協議会を通じて、日頃、何も無いと思って過ごすよりも、何か起こると思って生活していかないと重大な事件が起こると思った。警察と住民をつなぐことにより、事件事故を減らせると思った。」旨の意見があった。

【会長総括】

皆様の御協力により、充実した警察署協議会を開催することができた。
今後とも、住みよい地域社会づくりのために、御支援・御協力をお願いする。